瑞穂町商工会
インフルエンザ集団予防接種のご案内

※ワクチンが間に合わない場合は中止とさせて頂きますので、予めご了承ください。

毎年冬場になると流行するインフルエンザを予防する為、予防接種を実施いたします。
別紙の健康診断と同時に受けることができますので、下記内容でお申込みください。【先着順】

【実 施 日】 ※別紙、健康診断と同日です。

日　　付	受付時間	備　　考
11月29日（月）	９：３０～１１：００	全日合計先着５０名様限定 １１月２６日以降のキャンセルは キャンセル料を頂きます
11月30日（火）	８：３０～１１：００ １３：００～１４：００	
１２月1日（水）	８：３０～１１：００ １３：００～１４：００	
１２月2日（木）	８：３０～１１：００	

【会　　場】　青梅信用金庫富士見総合グランド・クラブハウス：瑞穂町箱根ケ崎1149
※長岡コミュニティセンターの駐車場は使えませんので、予めご了承ください。

【実施人数】　先着５０名

【料　　金】　４，０００円（税込）　※当日受付でお支払い 又は 後日合計で事業所へ請求いたします。

【接種できる方】
★別紙健康診断で、A・B定期健診、C・D生活習慣病予防健診のいずれかを受診される方
（健診とセットで受けることができます。）※春の健康診断受診者様はご相談ください
★20歳以上の方

【申込方法】　申込欄をご記入のうえ、１１月１７日(水)までに商工会へFAXでお申込みください。
折り返し、ご連絡を差し上げます。接種は、健康診断受診と同時に行います。
【 FAX：042-557-5290 ／ TEL：042-557-3389 】

【注意事項】
★ 後日予診票をお渡しいたしますので、記入してご持参ください。
★ 検温は当日会場で行います。
★ 接種後、約１０分は会場内で待機していただきます。
★ 予約時間に間に合わない等変更がある場合は、商工会までご連絡ください。
★ ワクチン準備の関係から　１１月２６日以降のキャンセルはキャンセル料を頂きます。
★ 新型コロナウイルスワクチンとは2週間以上期間を空ける必要がございます。

【申込み記入欄】　※ FAXでお申込みください。（ FAX　042 - 557 - 5290 ）

事業所名		電話番号	
受診者名	フリガナ	生年月日	（西暦） 年　月　日
		性　別	男 ・ 女

商工会記入欄

受診日時	月　日　時　分	健診種類	A ・ B ・ C ・ D

ご質問等ございましたら、商工会までお問合せください。
瑞穂町商工会　担当　山本・米原
TEL　042 - 557 - 3389
※ 裏面（インフルエンザ予防接種について）もご覧ください。

インフルエンザ予防接種について

【症　状】
インフルエンザは通常の「かぜ」と症状が異なります。通常の「かぜ」はのどや鼻に症状が現れるのに対し、インフルエンザは急に38～40度の高熱がでるのが特徴です。さらに、倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状も強く、これらの激しい症状は通常5日間ほど続きます。

【飛沫感染】
インフルエンザは飛沫感染ですので、感染者から1～2mほどの距離で感染します。狭い空間ではウィルスが長く浮遊することもありますので、こまめな換気と湿度を適度に保つことが大切といわれています。

【予防方法】
1. インフルエンザシーズンの前にワクチン接種をしましょう。
2. 手洗い・うがいをしましょう。
3. バランスの良い食事と十分な栄養をとり、疲労を避けましょう。
4. 室内の湿度を50～60％に保ちましょう。
5. 人込みや繁華街への外出を控えましょう。

もし外出するときにはマスクを着用すると良いでしょう。

【インフルエンザの感染】
インフルエンザワクチンは、打てば絶対にかからないというものではありませんが、たとえかかっても病気が重くなることを防いでくれます。
ウィルスの潜伏期間は1～5 日（平均3 日）で、発病後3 日程度までが感染者から他人への感染力が特に強いとされています。熱がさがっても、インフルエンザの感染力は残っていて、他の人に感染させる可能性があります。「発症した後5 日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまでは出席停止」と学校保健法では定められています。

【ワクチンについて】
季節性インフルエンザ混合ワクチンになり、2015 年～2016 年シーズンより昨シーズンまでの3価（A 型2 種、B型1 種）から4 価（A 型2 種、B 型2 種）へ変更になりました。

【ワクチン接種のすすめ】
インフルエンザワクチンは、接種後、効果発揮まで約2週間かかります。
インフルエンザ流行時期は例年、12月～3 月と言われていますので、11 月頃までに接種を済ませるとより効果的でしょう。ワクチンの予防効果が期待できるのはおよそ5 か月程度といわれています。したがって、毎年ワクチンの接種が必要と考えられます。